

## 県立コザ高等学校 芸術科（美術Ⅲ）シラバス

教科名：芸術 科目名：美術Ⅰ	担当者：宮里義行
履修学年：3年（文系・選択科目）	単位数：2単位
目 標	絵画・デザイン・立体・工芸などの創造的な諸活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。 （表現） ア 独創的な主題の生成と表現形式の選択 イ 個性と生かす創造的な表現の追求 （鑑賞） ア 作者の生き方や主張と作品 イ 美術が国際間の理解や協調に果たす役割
教 材	教科書： 光村図書 美術Ⅲ その他： 図録各種、参考図書、プリント教材等
授業方法 及び形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や図録、資料集などの視聴覚教材やプリント教材などを多面的に利用して、実技を中心とした造形学習を行います。</li> <li>・本格的なデッサンや平面・立体構成。課題作品の制作。自ら課題を設定し課題を解決していく課題研究など計画的に実施します。制作後は作品展示による鑑賞や、コンクール出品、展示会等への出品も行います。</li> <li>・作品制作の課題が提示されれば、各自資料及び材料等を収集し、アイデアスケッチ等の制作計画を綿密に行うこと。</li> <li>・作品提出の締切厳守を心がけること。そのためには、授業中での真剣な取り組みが必要であり、必要に応じて課外制作によって対応すること。</li> <li>・定期考査は実施しません。夏休みの宿題があります。</li> <li>・美術関係大学や専門学校への受験対策等、個別進路指導にも対応します。</li> </ul>
成績評価 の方法	1 観点別評価に応じた実技課題（作品制作）の評価（約70%） 2 宿題やプリント等の提出物の評価（約30%） 3 毎授業の学習意欲や態度及び出席状況 < 観点別評価 > I 美術に親しみ、自ら進んで表現や鑑賞に取り組めたか。 II 感じたことや考えたことから豊かに発想し表現できたか。 III 表現技法の技能を高めたり、新しい技法を創意工夫できたか。 IV 作品の良さや美しさを感じ取ったり味わったりすることができたか。
担当者 より	美術Ⅲは一般選択科目であることから、美術が特に好きな生徒たちが選択するだろうと思います。また少人数の授業になると考えられますので、作品も大型化となり、体験したことのない材料を使い、より専門的な内容になってきます。特に美術ⅠやⅡに比べても、作品制作の時間は短めとなり、放課後等の時間も活用しなければならないかもしれません。課題提出締切に間に合うように、努力する必要があると思いますので頑張ってください。 さて、美術Ⅲを選択した生徒は、三年間美術を続けてきたこととなります。芸大・美大に進む生徒以外は、今年で最後の美術の時間となるかもしれません。しかし、美術や音楽などの芸術科目は、卒業後でも学問として、趣味として続けていける生涯教育の一つでもあります。皆さんには生涯を通して、何らかの形で美術に関わって行って欲しいものだと願います。 今年度も個性的で創造性豊かに創作活動を楽しんでいきましょう。

## 美術Ⅲ 年間学習指導計画

学期 月	週 数	単元名・課題名	到達目標 学習のねらい
一 学 期	4 月	2 ・オリエンテーション ・ファイル制作	・学習のねらいと年間計画を学ぶ。 ・学習ファイルを制作し、授業で活用する。
	5 月	24 ・自然の素材を用いた木工作品の制作 (照明オブジェ、小物ラック、 ウッドハンガー、ウェルカム ボード等の作成) 環境造形という視点から流木 等の自然素材を用い木材立体 作品を表現する。	・材料収集からアイデアスケッチ、加工、 塗装、仕上げに至る過程を通し、物作りの 楽しさや生活に役立つ造形の可能性を追求 する。
	6 月		・環境と美術がどのような関わり合いを持っ ているか考える。 ・アイデアや創造性を発揮し、個性的で独 創的な作品を追求する。
7 月			
	8 月		
二 学 期	9 月	10 ・読書感想画	・本の感動を絵画作品として表現する ・構成的・心象的作品を目指し、自由な表現 方法を追求する。
	10 月	18 ・工芸～沖縄の陶芸 電動ロクロの体験 シーサー・花器・モザイク画 等の制作	・沖縄の伝統工芸としてのやちむんを学び、 郷土文化の尊重と理解を図る
	11 月		・可塑性のある素材の体験と技術を習得する ・様々な技法の体験を通して、興味関心の深 化を図る ・各種技法・技術を体験する
	12 月	4 ・美術史の鑑賞 西洋美術と日本美術を学ぶ	・作品模写や鑑賞を通して近世から現代まで の絵画の流れを学び、芸術の社会的役割を 認識する ・知識教養としての美術史の流れを学ぶ ・日本文化と西洋文化の違いと影響の関係を 理解する
		4 ・鉛筆デッサン 黒用紙白鉛筆によるハイライ ト描法	・形態と量感を捉える本格的な木炭デッサン を学ぶ。 ・美大受験対策
三 学 期	1 月	8 ・課題研究 自ら課題を設定し、計画から 制作・完成・発表までを行う	・企画力と実行力を養う ・表現技法について自ら深く学ぶ ・プレゼンテーションの能力を養う ・大学受験や進学対策に向けて取り組む
	2 月		・学年末の反省 ・作品集の制作、鑑賞 ・学年末を振り返り反省課題を確認し今後に 役立てる ・生涯において芸術を愛好する心情と文化を 尊重する態度を身につける
	計	70	